



2026年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】
野口 孝則
(のぐち たかのり)
noguchi@juen.ac.jp

栄養学を専門とし、人間の体や心の成長・発達段階に応じた最適な食教育（栄養・食事・食情報・食環境）に関する教育・研究・実践活動を行っている。得られた知見をもとに、教育・保育・医療・介護・福祉・行政における栄養専門職への教育や研修を行っている。



【准教授】
池川 茂樹
(いけがわ しげき)
ikegawa@juen.ac.jp

生理学的視点から、運動・栄養・睡眠などの生活習慣と疾病予防（特に熱中症や生活習慣病）の関係について、研究をすすめている。また、研究活動を通して得られた新たな知見やデータ分析の手法を学生指導にも活用し、科学的根拠に基づいた健康教育を行うことのできる教員の育成を目指している。



【准教授】
留目 宏美
(とどめ ひろみ)
todome@juen.ac.jp

養護領域を担当。養護教諭の独自性を生かした健康教育や個別保健指導、健康相談に係る研究に取り組んでいる。また、養護教諭を取り巻く諸環境に着目した学校組織研究や学校保健マネジメント、学校安全管理に関する研究も進めている。

開設授業科目例

保健室の機能と経営

学校保健活動を推進する拠点であり、保健情報センターとしての機能発揮が期待されている保健室を経営論的視点から学修します。理論と根拠に裏打ちされた「保健室経営」の実践力を身につけます。

現代的な健康課題の把握と養護実践の組織化

教育保健学を理論的な支柱とし、児童・生徒をとりまく現代的な健康課題の見方、考え方について理解を深めます。さらに、教育・支援課題へと精緻化し、実態に見合った特色ある教育・支援プログラムを開発し評価する実践の組織化プロセスを学修します。

健康相談活動の方法と技術

養護教諭の独自性を踏まえた観察・問診のあり方や、仮説検証過程としての「見立て」のプロセス、個別の保健指導及び健康相談の進め方を構造的に学修し、包括的な健康相談活動の実践力を身につけます。

健康データサイエンスの理論と実践

学校保健データ、国が公開しているオープンデータなどの分析を通して、データ分析の基礎を学びます。また、学校支援プロジェクトで得られた健康データ等を持ち寄って実際に分析し、その結果について議論します。

食教育の理論と実践

教育や保育の現場における「食教育（食育）」の必要性や有効性に関する最新の情報を収集・分析し、今後の「食育」の展開のあり方や教育現場における具体的な食教育（食育）事例について議論・企画・提案できる知識や技術を修得します。

子どもの栄養管理

学校全体における食育の目標・年間計画の作成や、児童・生徒の実態把握から食に関する課題を解析し、食に関する指導の実践を身につけます。また、食に関する指導前後の評価のあり方について議論・企画・提案できる知識や技術を演習形式で修得します。

教科内容構成「保健」の理論と実践

教科としての「保健」における年間指導計画の立案、指導案の作成、教材の選定、模擬授業などの実践的な活動を通じて、学校現場における健康教育の理論と実践を総合的に学びます。また、児童生徒の発達段階や多様なニーズを考慮した、効果的な指導方法や評価方法についても理解を深めます。

